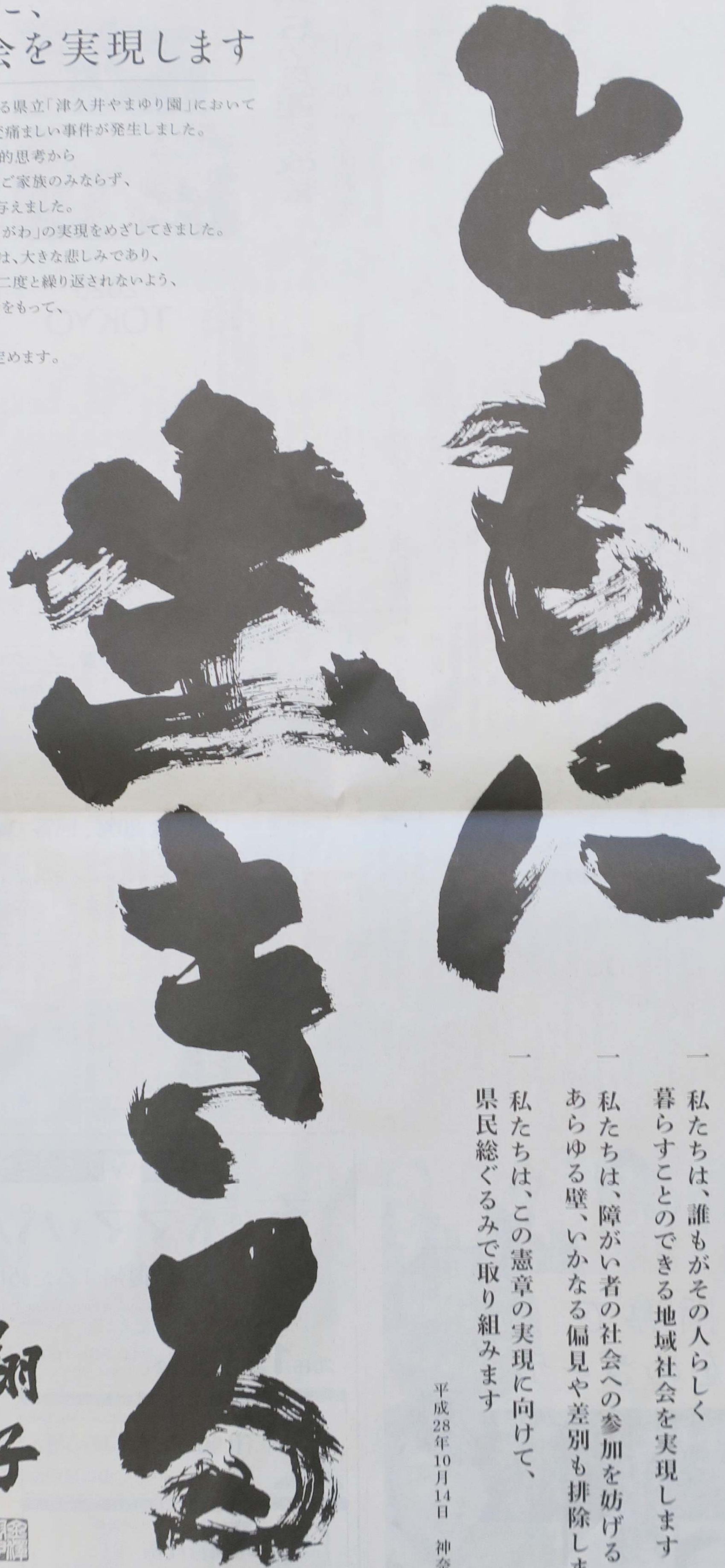


# 津久井やまゆり園事件 この悲しみを力に、 ともに生きる社会を実現します

平成28年7月26日、障害者支援施設である県立「津久井やまゆり園」において19人が死亡し、27人が負傷するという、大変痛ましい事件が発生しました。この事件は、障がい者に対する偏見や差別的思考から引き起こされたと伝えられ、障がい者やそのご家族のみならず、多くの方々に、言いようもない衝撃と不安を与えました。私たちは、これまでも「ともに生きる社会かながわ」の実現をめざしてきました。そうした中でこのような事件が発生したことは、大きな悲しみであり、強い怒りを感じています。このような事件が二度と繰り返されないよう、私たちはこの悲しみを力に、断固とした決意をもって、ともに生きる社会の実現をめざし、ここに「ともに生きる社会かながわ憲章」を定めます。



ともに生きる社会

## かながわ憲章

- 一 私たちは、あたたかい心をもって、すべての人のいのちを大切にします
- 一 私たちは、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会を実現します
- 一 私たちは、障がい者の社会への参加を妨げるあらゆる壁、いかなる偏見や差別も排除します
- 一 私たちは、この憲章の実現に向けて、県民総ぐるみで取り組みます

平成28年10月14日 神奈川県



翔子



題字「ともに生きる」  
ダウン症の女流書家 金澤翔子  
1985年東京都生まれ、5歳から書を始め、20歳で初個展。その後、鎌倉・建長寺、京都・建仁寺で毎年個展を開催するほか、奈良・東大寺など数多くの寺社で揮毫(きごう)および書の奉納を行う。NHK大河ドラマ「平清盛」のタイトル題字も手がけるなど多方面で活躍。日本福祉大学客員准教授。

神奈川県は「ともに生きる社会かながわ」の実現に向けて、全力で取り組んでいます。本県の取り組みや金澤翔子さんの席上揮毫の動画などは、

こちらから [ともに生きる社会かながわ](#) 検索

この憲章は神奈川県と神奈川県議会が共同して策定したものです。  
問い合わせ先 神奈川県保健福祉局福祉部障害福祉課 電話 045-210-4703 FAX 045-201-2051

